

芸術学部 パフォーミング・アーツ学科

1 カリキュラム・ポリシー

- パフォーミング・アーツ学科では、演劇・舞踊・音楽の上演芸術の学びを通じて、人間関係力（コミュニケーション）、異種混合結合力（コーディネーション）、創造構想発信力（プロデュース）などの豊かな資質と能力を備えた、アートで社会をつなぐプロフェッショナルを養成する。この目的を達成するため、カリキュラムを次の4つの方針に従って編成している。

- ① ユニバーシティ・スタンダード科目と学科科目を100番台から400番台科目まで順次履修することで、教育と芸術に関する知識を幅広く修得するとともに、多文化・異文化に関する知識、文化、社会、自然に関する理解を深め、芸術分野の体系の意味と自己の存在を歴史、社会、自然と関連付けて理解する。
- ② 上演芸術全般（演劇・舞踊・音楽・舞台技術・企画構想）に関する基礎的な知識・技能を幅広く修得するため、『身体表現』、『音楽表現』、『舞台技術』『企画構想』を、基礎科目から上級科目まで配置する。
上演芸術を取り巻く要素を体系的かつ多面的に学び、自己の適正を判断するために、『身体表現Ⅰ』、『音楽表現Ⅰ』、『舞台技術・企画構想Ⅰ』および『パフォーミング・アーツ概論』は必修とする。
2年次はこれらの分野から2科目を選択する。
3・4年次ではこれらの分野から1科目を選択することで、自身の専門性を深めていく。
卒業年次には学修の成果を「創作」「公演」「演奏」「論文」から適した形式で発表することで、課題に継続的に取り組み、主体的かつ能動的に学ぶ態度を身につけることを目的とする。
- ③ 芸術に関する知識を、歴史、社会、自然と関連付け、体系的に理解できるようにするために、『演劇史』、『演劇理論』、『西洋演劇』、『音楽史』、『音楽理論』等の科目を開設する。
- ④ 社会の諸問題についての関心と理解を深め、諸問題の解決に取り組むための知識・態度を身につけるために『文化政策概論』や『芸術応用(アウトリーチ)』を開講する。
また、上演芸術の社会における役割と必要性を認識するために『インターンシップ』『フィールドワーク』を開設する。
- ⑤ 修得した知識や技能を活用して実践することで、豊かな表現力と社会人としての倫理性を会得できるようにするために、1年次から4年次まで継続的に『パフォーマンス』を開設する。諸団体や地域との連携を強化し、社会の求める上演芸術に関与できる基礎力を修得するため『パフォーマンスⅠ』『パフォーマンスⅡ』『パフォーマンスⅢ』は必修とする。
『パフォーマンス』では、自らの研究・考察を論理的かつ的確に表現し、上演を成功に導くための協働、創作を行う。観客や聴衆に成果を披露する公演や演奏会の企画・製作・出演をグループで行うことを通して、異なった価値観をもつ人々と協働する知識・技能・表現力を身につけ、社会の一員として課題を発見し、能動的かつ主体的に解決できる広い視野と高い専門性を育むことを目的とする。

- なお分野ごとの標準的な学修内容は後述する「履修モデル」によって示されています（p.178～179参照）。

2 卒業要件

パフォーマンス・アーツ学科では、以下の6つの条件を卒業要件として定めています。

- (1) 修業年限を満たすこと
- (2) 全科目の修得単位の合計が124単位以上であること
- (3) 卒業時の累積GPAが2.00以上であること
- (4) ユニバーシティ・スタンダード科目より、次の必修科目および必修選択科目を修得していること
〈必修科目〉 玉川教育・FYE科目群：「一年次セミナー 101」「一年次セミナー 102」「玉川の教育」「健康教育」「音楽Ⅰ」「音楽Ⅱ」
〈必修選択科目〉 人文科学科目群：「音楽史」または「演劇史」のいずれか1科目（2単位）
言語表現科目群：「ELF101」「ELF102」「ELF201」「ELF202」「ELF301」「ELF302」「ELF401」「ELF402」より2科目（8単位）
- (5) ユニバーシティ・スタンダード科目の各科目群より、上記（4）で示した必修および必修選択科目の単位を含む、次に指定する単位数を修得していること
人文科学科目群：2単位以上 社会科学科目群：2単位以上
自然科学科目群：2単位以上 学際科目群：4単位以上
言語表現科目群：8単位以上
以上計18単位以上。
- (6) 学科科目について、次の必修科目および必修選択科目を修得していること
100番台科目より：
〈必修科目〉 「パフォーマンス概論」「身体表現Ⅰ」「音楽表現Ⅰ」
「舞台技術・企画構想Ⅰ」「パフォーマンスⅠ」「パフォーマンスⅡ」
〈必修選択科目〉 「演劇理論」または「音楽理論」（芸術教育学科科目）のいずれか1科目（2単位）
200番台科目より：
〈必修科目〉 「パフォーマンスⅢ」
〈必修選択科目〉 「身体表現Ⅱ」「音楽表現Ⅱ」「舞台技術・企画構想Ⅱ」の3科目より2科目（8単位）
「身体表現Ⅲ」「音楽表現Ⅲ」「舞台技術・企画構想Ⅲ」の3科目より2科目（8単位）
300番台科目より：
〈必修選択科目〉 「身体表現上級Ⅰ」「音楽表現上級Ⅰ」「舞台技術上級Ⅰ」「企画構想上級Ⅰ」の4科目より1科目（4単位）
「身体表現上級Ⅱ」「音楽表現上級Ⅱ」「舞台技術上級Ⅱ」「企画構想上級Ⅱ」の4科目より1科目（4単位）

3 履修上の留意事項

- 学科科目で、科目名にローマ数字の記載のあるもの、またそのほかに教育課程表中に指定のある科目を履修するためには、必ず事前ガイダンスに出席しなければなりません。

4 取得可能な資格

- パフォーマンス・アーツ学科では所定の科目の単位を修得し、また所定の条件を満たすことで、次の資格を取得することができます。

■ 学芸員

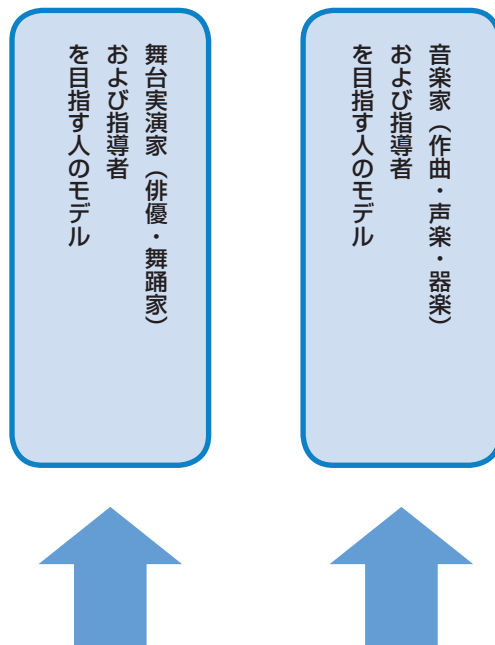
本履修ガイドp.232～233の「学芸員」を参照してください。

■ その他の資格および修了証

本履修ガイドp.223の「取得できる各種資格・修了証等一覧」を参照してください。

- * 複数の免許・資格・修了証の同時取得については、4年間の在学で可能なものとそうでないものがあります。詳細は随時行われるガイダンスの内容を参照してください。

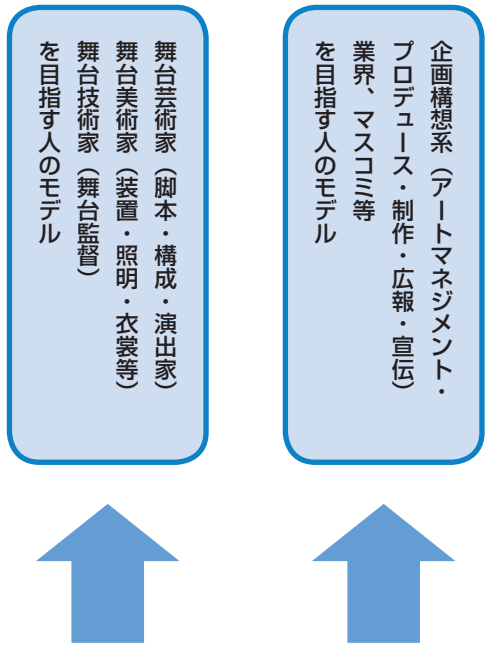
5 パフォーミング・アーツ学科 履修モデル



400 番台	4年次	秋	身体表現上級Ⅳ ④	音楽表現上級Ⅳ ④	選択	パフォーマンスⅧ ②	選択
				卒業創作・公演・演奏・論文 ②		～認定可～	
	4年次	春	身体表現上級Ⅲ ④	音楽表現上級Ⅲ ④	選択	パフォーマンスⅦ ②	選択
						～認定可～	
300 番台	3年次	秋	身体表現上級Ⅱ ④	音楽表現上級Ⅱ ④	1科目必修	パフォーマンスⅥ ②	選択
				～認定可～		～認定可～	
	3年次	春	身体表現上級Ⅰ ④	音楽表現上級Ⅰ ④	1科目必修	パフォーマンスⅤ ②	選択
				～認定可～		～認定可～	
200 番台	2年次	秋	身体表現Ⅲ ④ 音楽表現Ⅲ ④	音楽表現Ⅲ ④ 舞台技術・企画構想Ⅲ ④	2科目必修	パフォーマンスⅣ ②	選択
				～認定可～		～認定可～	
	2年次	春	身体表現Ⅱ ④ 舞台技術・企画構想Ⅱ ④	音楽表現Ⅱ ④ 身体表現Ⅱ ④	2科目必修	パフォーマンスⅢ ②	必修
100 番台	1年次	秋	舞台技術・企画構想Ⅰ ② 音楽表現Ⅰ ②	身体表現Ⅰ ② 舞台技術・企画構想Ⅰ ②	全科目必修	パフォーマンスⅡ ②	必修
	1年次	春	身体表現Ⅰ ② PA概論 ②	音楽表現Ⅰ ② PA概論 ②		パフォーマンスⅠ ②	必修

※科目名のあとの丸数字は単位数

※認定についてはレベルチェックを行います。



400番台	4年次	秋	舞台技術上級Ⅳ ④	企画構想上級Ⅳ ④	選択	パフォーマンスⅧ ②	選択	
			卒業創作・公演・演奏・論文 ②				～認定あり～	
	4年次	春	舞台技術上級Ⅲ ④	企画構想上級Ⅲ ④	選択	パフォーマンスⅦ ②	選択	
						～認定可～		
300番台	3年次	秋	舞台技術上級Ⅱ ④	企画構想上級Ⅱ ④	1科目必修	パフォーマンスⅥ ②	選択	
			～認定可～	～認定可～		～認定可～		
	3年次	春	舞台技術上級Ⅰ ④	企画構想上級Ⅰ ④	1科目必修	パフォーマンスⅤ ②	選択	
			～認定可～	～認定可～		～認定可～		
200番台	2年次	秋	舞台技術・企画構想Ⅲ ④ 身体表現Ⅲ ④		2科目必修	パフォーマンスⅣ ②	選択	
			～認定可～			～認定可～		
	2年次	春	舞台技術・企画構想Ⅱ ④ 身体表現Ⅱ ④		2科目必修	パフォーマンスⅢ ②	必修	
100番台	1年次	秋	音楽表現Ⅰ ② 身体表現Ⅰ ②		全科目必修	パフォーマンスⅡ ②	必修	
	1年次	春	舞台技術・企画構想Ⅰ ② PA概論 ②			パフォーマンスⅠ ②	必修	

※科目名のあとの丸数字は単位数

※認定についてはレベルチェックを行います。